

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AIAI PLUS 今井			
○保護者評価実施期間	2024年11月10日		～	2024年12月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2024年11月5日		～	2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月24日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	施設全体で指導訓練室の使用方法を工夫している。	基準配置を厳守しプログラム内容に応じてスペースの有効活用ができるようにしていく。
2	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	定期的に施設内研修を行っている。 発達障害に係る研修や講習の案内があった際は職員に周知し積極的に参加できるように促している。	プログラムに使用する教具や教材についての研修をし、職員のスキルの標準化を図っていく。
3	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	運動スペースのフル活用をすることにより、プログラムに活動の追加をし取り組んでいる。	縄跳びやボール等を使用し、お子様の発達特性に合わせて苦手とされる運動にも取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や研修や情報提供等が不十分であった。	個別の相談は状況に応じて対応した。 家族支援プログラムや家族参加の研修する機械の情報提供の時間が設けられず実施出来なかった。	研修会の開催を検討する。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会がない。	95分間のプログラムの中で地域交流は難しい。 避難訓練や地域体験の時間を設けた際に出くわす事はあがるが、活動は行っていない。	近隣の保育園児等やAIAI NURSERYとの交流する場面を検討する。
3	保護者会等の開催がなく保護者同士で交流する機会がなかった。	父母の会の設置をしていない。	フォーラムを開催したり、就学を見据えて同学区や年齢別で交流が図れるように日時を分けて設定できるように検討する。